

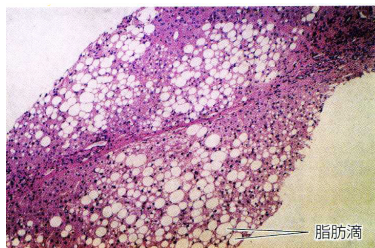
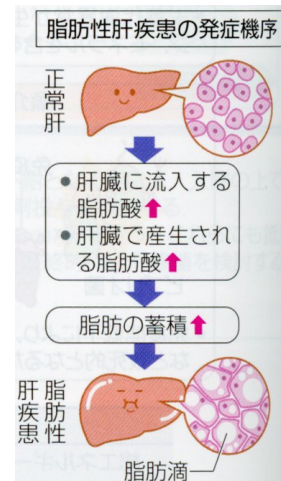
かつては（*：後述）「脂肪肝」と呼ばれていた 「脂肪性肝疾患」の話

* 「脂肪肝」「脂肪性肝疾患」とは？

肝臓には全体に約3000億個の肝細胞がありますが、肝臓に中性脂肪が異常に集積し、肝細胞の5%以上に脂肪蓄積を認める状態を従来は「**脂肪肝**（fatty liver）」と呼ばれていました。

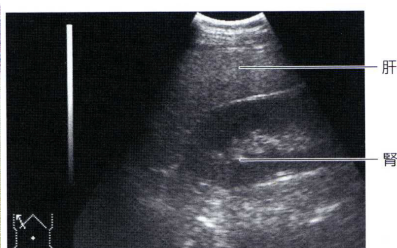
しかしながら、2023年に様々な病因を含めた「脂肪肝」を包括する名称として「**脂肪性肝疾患**（SLD：steatotic liver disease）」と称される疾患概念が提唱されています。

罹患する患者数は近年増加しており、成人の約30%に「脂肪性肝疾患」が認められます。



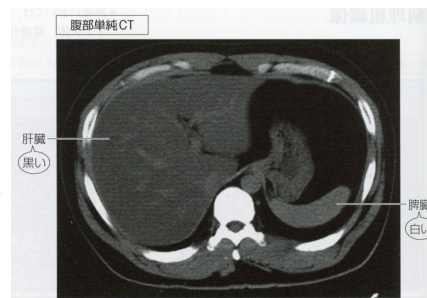
図（上）：「脂肪肝」の病理組織像

肝臓内に脂肪滴を含む白く抜けた細胞が多くみられます。



図（上）：「脂肪肝」の腹部エコー像

肝臓のエコーレベルが高くなり、「白く」なります。腎臓に比べて肝臓は「白く」なり、肝腎コントラストが増大します。



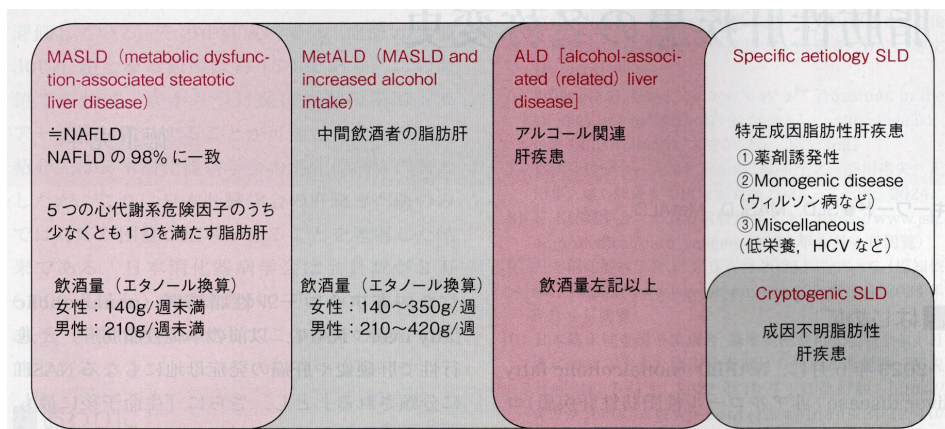
図（上）：「脂肪肝」の腹部CT像

単純CTでは、「脂肪肝」の肝臓は、低吸収に（相対的に「脾臓」よりも黒く）描出されます。

「**脂肪性肝疾患**（SLD）」は、心代謝系危険因子の有無や飲酒量により、＜代謝機能障害関連脂肪性肝疾患（MASLD）＞＜代謝機能障害アルコール関連肝疾患（MetALD）＞＜アルコール関連肝疾患（ALD）＞＜特定成因脂肪性肝疾患＞＜成因不明脂肪性肝疾患＞の5つに分類されます。

（図 下）

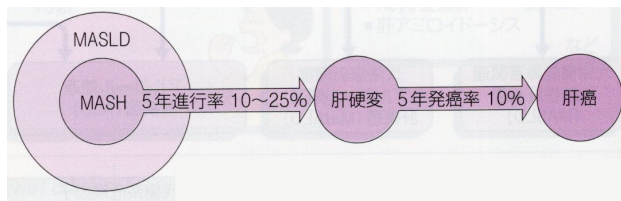
MetALDは、いわゆる中間飲酒者、アルコール摂取量（エタノール換算）で女性は140～350g/週、男性では210～420g/週、の「脂肪肝」です。**ALD**については、海外では多くの患者で肝脂肪沈着を伴いますが、一方、本邦では肝脂肪沈着を伴わないケースも多く、「アルコール性肝線維症」という概念も受け入れられています。議論はありますが、全ての**ALD**を**SLD**に含めるべきとの多くの意見となっています。**特定成因脂肪性肝疾患**は、薬剤などの原因が特定できる「脂肪肝」です。



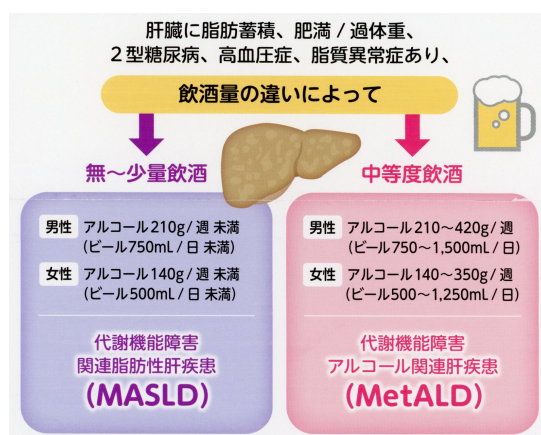
代謝機能障害関連脂肪性肝疾患（MASLD、マッスルディー、マッスルド：metabolic dysfunction-associated steatotic liver disease）

過剰な飲酒歴を伴わず、「脂肪性肝疾患」が認められる病態です。
“metabolic”とは”代謝”という意味で、BMIまたは腹囲・血糖またはHbA1c・血圧・中性脂肪・HDLコレステロールの5つの心代謝系危険因子のうち、少なくとも1つの因子の異常を満たす「脂肪肝」として定義されています、男性が女性より高頻度で、男性は中年層、女性は高齢層に多いとされています。また、メタボリックシンドロームの肝病変として捉えられます。我が国において **MASLD** の患者数が増加している現状があります（健診の受診者における有病率は男性で約40%、女性で約20%です。）

MASLD のうちで肝細胞の脂肪沈着にく炎症細胞の浸潤＞などが認められる場合を「代謝異常関連脂肪肝炎（**MASH**、マッシュ：Metabolic dysfunction-Associated SteatoHepatitis）」と呼ばれます。「**肝がん**」はウイルス性、次にアルコール関連が主な原因でしたが、**MASH**でも病態が進むと、「**肝硬変**」、さらに「**肝がん**」へと進行するリスクが高まります（図 右上）。このため、**MASH**への進行を見逃さないように注意が必要です。



また、中等度の飲酒者の「脂肪性肝疾患」を指す「代謝機能障害アルコール関連肝疾患（MetALD（メトエーエルディー：Metabolic alcoholic liver disease）」という疾患の分類が新たにつくられました（図 右）。（前述）



*：NAFLD/NASHからMASLD/MASHへの名称変更について：

欧州肝臓学会（EASL）は米国肝臓病学会（AASLD）、ラテンアメリカ肝疾患研究協会（ALEH）と合同で、「脂肪性肝疾患」の病名と分類法を変更することを、2023年6月24日に発表しました。日本消化器病学会、日本肝臓学会もこの変更賛同し、その旨を同年9月29日に両学会のホームページに発表しました。



これまでは「非アルコール性脂肪肝疾患」（NAFLD：non-alcoholic fatty liver disease：ナッフルド）と呼ばれていましたが「非アルコール」と言う表現では病態の中核である代謝機能異常を正確に反映していないことや「alcoholic（アルコール依存症）」や「fatty（肥満者）」と言う単語が差別的表現に相当することなどから、名称が「代謝機能障害関連脂肪性肝疾患（**MASLD**、マッスルディー：metabolic dysfunction-associated steatotic liver disease）」に変更されました。実際にはNAFLDと診断されていた患者のほとんどはMASLDと合致します。同様に、このMASLDに該当して、かつ肝炎が生じてい

る場合の「非アルコール性脂肪肝炎」（NASH：nonalcoholic steatohepatitis：ナッシュ）も「代謝異常関連脂肪肝炎（**MASH**、マッシュ：Metabolic dysfunction-Associated SteatoHepatitis）」に変更されました。（図 上）

図は、「病気がみえる vol. 1 消化器」＜MEDIC MEDIA＞、「日本医師会雑誌」第153巻・第8号 2024、＜健康ぶらざ＞ No.586：日本医師会（企画）、「読売新聞 オンライン」などから引用しました。

この「診療所だより」や診療についての御意見・御要望などをお気軽にお寄せ下さい。
これからの参考にさせていただきます。

編集・発行： 勝山諄亮

勝山診療所

〒639-2216 奈良県御所市343番地の4（御国通り2丁目）
電話：0745-65-2631